

2024年7月11日

各 位

会社名 株式会社オリエンタルコンサルタンツホールディングス
代表者名 代表取締役社長 野崎 秀 則
(東証スタンダード市場・コード番号2498)
問合せ先 取締役統括本部長 森 田 信 彦
TEL 03-6311-6641

株式会社オリエンタルコンサルタンツ **DX 成果発表会を開催** **～ビジョンを掲げ、チャレンジ・成長し続ける企業へ～**

当社グループの基幹会社である株式会社オリエンタルコンサルタンツ（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：野崎秀則）は、2024年7月2日に「DX 成果発表会」を開催いたしました。

同社は、DX を推進して事業モデルと業務プロセスの変革を果たすべく、様々な取り組みを行っています。これら取り組みの中から、生産性向上や省力化に繋がるツールの紹介、BIM/CIM の高度活用を図った事例を同社の全社に展開したものです。

本発表会は、1部を効率化ツール発表、2部をBIM/CIM 成果発表の2部構成として行い、同社の役職員約520名が参加しました。

1部では、効率化・省力化ツールの存在を知り、自らが使用し、生産性の向上を図ることを目的として、各種IT技術を用いた効率化ツールの特長と利用方法を紹介する効率化ツール発表を行いました。

具体的には、生成AIを活用したプログラミングの汎用化、単純作業に対するVBAの利用事例、繰り返しのCAD作業に対するDynamoの利用事例、Power AutomateやGasを使ったメール処理の省力化事例が報告されました。

2部では、BIM/CIM 活用の全体底上げと、BIM/CIM を活用している技術者が見える化し、人的ネットワークを構築することを目的として、BIM/CIM 成果発表を行いました。

直近1年間の取り組みの中から、BIM/CIM とIT技術との組み合わせによって、高付加価値を創出した事例として、構造分野、道路分野、河川分野の3件が報告されました。

具体的には、BIM/CIM モデルをARに変換し、対外協議や住民の理解促進を図った事例、スマホLiDARを用いた転石調査の事例、Landlog Viewerを情報プラットフォームとした事業マネジメントの変革事例が報告されました。

講評において、野崎社長は、「DXの成果を確認し、様々なIT技術が発展していることを改めて確認できた。BIM/CIMも単にBIM/CIMを活用することから、プラスαとしてIT技術の活用が発展していることも確認できた。そのことを踏まえて、3つのキーワードを共有したい。一つ目は、「学習」。日々発展するDXに関連する技術や知識を常にキャッチアップして学んでほしい。それが一人ひとりの成長に繋がっていく。二つ目は、「ビジョン」。日々の業務において、到達したい目標を設定し、そこに向けて研鑽して欲しい。三つ目は、「行動」。頭で考えるだけでは成長しない。行動し、チャレンジすることで成長に繋がると考える。自らのビジョンを掲げ、学び、そして行動・チャレンジする。これを繰り返すことで成長に繋がると考えるので是非これを継続して欲しい。」と締めくくりました。

【発表した効率化ツール】

- ①支援ツール開発による単純作業効率化（Chat GPT の効果的活用方法）
- ②VBA を活用した業務効率化ツール（報告書目次作成サポート、画像ファイル取込み 等）
- ③Dynamo を活用した CAD 作図自動化
- ④メール&添付ファイル保存とリマインドの自動化（Power Automate を活用）
- ⑤メール配信の自動化（GAS を活用）

【発表した BIM/CIM 事例】

- ①AR の協議・広報資料への活用
- ②現地調査へのスマホ LiDAR の試行活用
- ③国土交通省職員の業務負荷軽減に資する DX 化

■ BIM/CIMモデルを活用したAR（拡張現実）体験



AR画面では 現況映像に設計案が重ねて表示されます

「AR の協議・広報資料への活用」の発表

③落石調査結果の管理の効率化

▶ 落石予備物質の3次元位置図（統合モデル）を作成し、データベース化することで、煩雑な台帳類やカルテ等の管理を効率化した。

名前	リンク	カテゴリ
落石番号30	C:\Users\後藤亮...	ラベル
落石番号30対策面	C:\Users\後藤亮...	ハイパーリンク
落石番号30落石台帳	C:\Users\後藤亮...	ハイパーリンク
落石番号30点群データ	C:\Users\後藤亮...	ハイパーリンク

←プロパティへの直接付与

↑外部参照による属性付与

▲3次元落石位置図(NavisWorks)

3次元点群データ

落石台帳データ

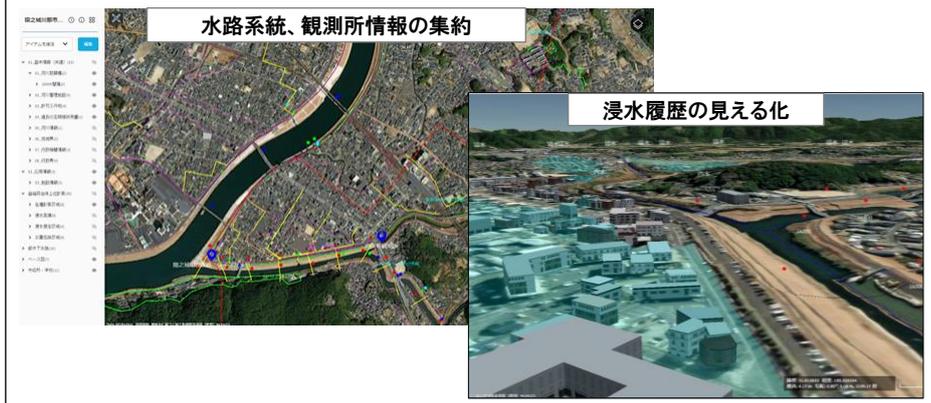
管理番号	名称	形状
001	浮石	円柱体
002	崖	2.0m x 3.0m x 2.0m
003	崖	3

図面データ

「現地調査へのスマホ LiDAR の活用試行」の発表

AFTER

3D管内図をプラットフォームとした、浸水履歴等の資料集約、外部公表機能を活用



EFFECT

- 共有機能を活用して、いつでも閲覧ができる状態に。
- 関連自治体、地域との合意形成の効率化。

「国土交通省職員の業務負荷軽減に資するDX化」の発表

下記製品は、それぞれ記載の通りの商標登録です。

Dynamo : Autodesk

Power Automate : Microsoft

Gas : Google

Landlog Viewer : Landlog

NavisWorks : Autodesk

LiDAR : Light Detection and Ranging の略

以上

<本資料に関するお問い合わせ先>
株式会社オリエンタルコンサルタンツ
TEL: 03-6311-7551 FAX: 03-6311-8011
URL : <https://www.oriconsul.com/>
統括本部 伊藤、丸山、門司